2013年第2号
2013/7/25
在沖縄米国総領事館

からはーい

ご挨拶

マグルビー総領事

猛暑の夏になりました。蝉の声が目覚まし時計の代わりを努めるこのごろ、学校も休みに入り、街のところどころで夏らしいイベントが開催されたり楽しい季節だと思います。人によっては、自由に使える時間が多少増える時期です。普段思いつかないことに挑戦するには良い機会かもしれません。

開放感のある夏だからこそ、自分に与えられた時間をどう活用するかで、人生が決まるのではないでしょうか。楽しみが多いと同時に、将来への道を開くことを常に念頭に置き、有意義な夏にしたいものです。そこで、私が思い付くのは人材育成です。よく聞かれる「人材育成」とは何でしょうか？その本質は、未来に備えるために技能や知恵を持ち合わせるより視野の広い、より奥の深い、そしてより柔軟性や多用性のある人材（つまり人間）を育てることでしょう。多くの経験をする人こそが、有利に自分を育てることができます。そのためには時間をいかに有効に活用するかということが大きな課題となります。

この夏、チャンスをつかんで自分の「育成」に努めたいものです。異文化に触れる機会があれば、それをフルに活用し、スポーツに参加していれば、一生懸命頑張ることでしょう（甲子園で沖縄代表を応援します！）。研究したり、観光で気楽に視野を広げたりするのも良いですが、やはり何か新しい体験をすることが大切だと思います。休みが取れなくとも、明るく、前向きな気持ちで物事に取り組んでみたいと思います。

私は、自分をより鍛える時にしたいと考えます。毎朝、蝉の鳴き声を楽しみ、自然をより深く愛する人間になっているように思います。沖縄の美しい環境や明るい社会のなかにいる我々は恵まれていることに感謝して、夏をフルに活用したいものです。

蝉の夏・人材育つ・最好機

目次:

ご挨拶	1
ルース大使、沖縄アメリカプログラム同窓会のメンバーと交流	1-2
TOMODACHIイニシアチブが沖縄にやって来た！	2-3
スコア! サイエンスinオキナワ2013: 起業のための研究能力	3
沖縄エネルギー事情と米国の関係	4
アメリカ世（ゆー）に於ける人材育成と国際交流推進 – その2–	5
在沖米国領事館のイベントのお知らせ	6
8月のイベント	7

ルース大使、沖縄アメリカプログラム同窓会メンバーと交流

ルース大使は6月に沖縄を訪問し、American Exchange Program Alumni in Okinawa (AEPAO) メンバーと意見交換を行いました。第1回の **"SCORE!"** で優勝した生徒2名は、発表内容の説明を行い、副賞としてこの夏に行われるTOMODACHIイニシアチブがスポンサーするアメリカへの **TOMODACHI-SCORE! スタディツアー** 参加への意気込みを語りました。

毎月2回行われる"英語で朝活"をきっかけにAEPAOのメンバーとなり、5月にルース大使と**Google+ハングアウトを利用した交流会**に参加した学生らは、大使と直接の再会を果たしました。うち1名は沖縄から初となる**クリントン・グローバル・イニシアチブ大学国際学生会議**への参加者で、世界各国から来た学生らとの会議を通して刺激を受け、このような機会をもらった事にとても感謝していると述べました。

インターナショナル・ビジター・リーダーシップ・プログラム (IVLP) に沖縄から最年少で

続く

ルース大使と記念撮影

参加したメンバーは、アメリカでガールスカウトの大会を視察しました。帰国後に行った基地内のガールスカウトとの交流会やIVLPの活動報告について述べ、IVLPで素晴らしい経験をしたと報告しました。

また5、6月に行われた石垣島と宮古島地方でのアメリカ留学説明会で講演したメンバーは、離島に住む生徒にアメリカでの経験を話し、留学や英語に興味を持ってもらう活動内容について説明しました。大使は、このように様々な形でアメリカと沖縄の重要な橋渡し役を担っている同窓会メンバーを激励しました。

AEPAOではメンバーを募集しています。短期・長期問わずアメリカへの留学や交流プログラムへ参加した方ならどなたでもご参加頂けます。このように、大使やワシントンからの訪問者等との交流会をはじめ、ネットワークを広げるカジュアルなイベント等も行っております。興味のある方は**Nahapas@state.gov**までご連絡下さい。

TOMODACHI イニシアチブが沖縄にやって来た！

TOMODACHI イニシアチブについては、もうご存知でしょうか？TOMODACHIイニシアチブとは、東日本大震災後の日本の復興支援から生まれ、教育・文化交流、起業支援、指導者育成といったプログラムを通して、日米の次世代のリーダーに投資する官民パートナーシップです。日米関係の強化に深く関わり、互いの文化や国を理解し、より協調的で繁栄した安全な世界への貢献と、そうした世界での成功に必要な、世界中で通用する技能と国際的な視点を備えた日米の若いリーダーである「TOMODACHI世代」の育成を目指しています。今年の夏は日本とアメリカの中・高校生約500名をアメリカと日本に送り出します。

これまでは東北の学生への支援が中心でしたが、今年からは他の地域からの参加希望者へも門戸を広げています。実はここ沖縄からも既に5つのTOMODACHIプログラムへ11名の参加者が決定しています。

・クリントン・グローバル・イニシアチブ大学国際学生会議（米国）への派遣
―沖縄キリスト教大学1名

内容：4月5日から7日までミズーリ州セントルイスで開催された国際会議へ出席。世界各地からの学生と意見交換し、社会的プロジェクトを企画・実施する方法について学ぶ機会を提供した。

・Pepperdine大学夏期英語講習プログラムへの派遣―那覇国際高等学校1名

内容：7月21日から8月10日、カリフォルニア州Pepperdine大学構内にて午前中は世界中から集まった学生と英語の集中講座を受けながら、午後や週末は様々なスポーツや文化プログラムに参加し、観光も行う夢のようなプログラム。

・TOMODACHI-Frogs jr.県内起業家育成プログラムでの米国派遣―高校生4名と引率1名

内容：8月18日から8月28日、若く有能な起業家を育成することを目的にITビジネスの聖地であるシリコンバレーへ派遣する。世界トップレベルのハイテクノロジーを体感し、米国で得た刺激や出会いから生み出される、新しいアイデアでオリジナルのサービスを展開できる知識を得る。

1ページ目に戻る

・TOMODACHI-SCORE!スタディツアー――高校生2名と教師1名

内容：SCORE!とは今年3月に開催された沖縄県内の高校生及び高等専門学校の生徒さんの為のサイエンス・フェア。優勝した沖縄工業高等専門学校チームはTOMODACHI資金にてサンフランシスコへ9月5日から9月14日まで派遣される。大学や企業訪問、地元高校生との交流を行い、日系人の歴史についても学ぶ。

・TOMODACHI-三井物産リーダーシップ・プログラムでの米国派遣―社会人1名

内容：日米両国の優秀な35歳以下の若手リーダーが相互の国を訪問し、相手国のリーダーとの交流を通して視野を広げるとともに、各分野での活動やイニシアチブをさらに強化する機会を提供。日本代表団の一人として9月8日から16日まで米国を訪問します。

今後も続々といろいろなプログラムの案内があると思いますので、皆様もぜひ領事館からのフェイスブックやツイッターによるお知らせにご注目下さい！一人でも多くの沖縄県の若い皆様がTOMODACHI イニシアチブが提供する様々な米国派遣プログラムを通して、新しい文化を体験し、リーダーシップを学び、新しい友人をつくって、国際人としての一歩を踏み出すことを願っております。

スコア! サイエンスinオキナワ2013: 起業のための研究能力
SCORE!: Science in Okinawa 2013: Research for Enterprise

SCORE参加者

2013年3月16日（土）－在沖米国総領事館では、沖縄科学技術大学院大学(OIST)との共催、沖縄県、沖縄県教育委員会、沖縄県高等学校理科教育研究協議会の後援を得て、次世代の科学者、技術者、起業家の育成を目的とした科学フェアー「スコア! サイエンスinオキナワ2013: 起業のための研究能力」をOISTの講堂で開催しました。県立高校8校（辺土名、北部農林、美来工科、中部農林、球陽、宜野湾、開邦、那覇国際）と国立沖縄工業高等専門学校（3年次まで）、クバサキ・ハイスクールを含め10校から14チームのエントリーがあり、日頃の研究や開発の成果をいかに日常生活の中に役立ていくかというビジネスアイディアを10分間という制限時間の中で審査員の前で発表し、厳しい質問に答えていました。

沖縄らしい素材に着目した研究が多く、どれもこれも非常にハイレベルな発表となりました。激戦の中、国立沖縄工業高等専門学校の島袋友美さんと宮里春奈さんが発表した「シークヮーサー果皮を利用した新規商品開発」が1位となりました。1 位から3位までの入賞者にはOISTでのインターンシップの機会が授与されたほか、1位入賞者には米国往復航空券が副賞として提供されました。2位には北部農林高等学校の「シークヮーサー絞り粕の有効利用パートⅣ」、3位には中部農林高等学校の「目指せ！地域のバイオセンター　～オリジナルイモの増産に向けたプロジェクト～」が入賞しました。

1位の国立沖縄工業高等専門学校の島袋さんと宮里さんは、トモダチ・イニシアチブのプログラム（TOMODACHI-SCORE Study Tour）で、9月上旬にカリフォルニア州サンフランシスコを訪問し科学博物館、バイオ関連企業、大学の見学および地元の高校生との交流を予定しています。

尚、第2回スコア！は、11月2日（土）に開催を予定しています。詳しくはチラシをご参照下さい。

1ページ目に戻る

沖縄エネルギー事情と米国の関係

沖縄の電力系統について説明を受けました。

戦後の沖縄での本格的な電力供給は、1950年に琉球列島米国民政府（USCAR =United States Civil Administration of the Ryukyu Islands）が沖縄全島電化計画を発表し、ガリオア資金を使って浦添市牧港（現沖縄電力牧港火力発電所）に火力発電所を建設し、1953年から1号機の運転を開始したのが始まりでした。1953年から1957年にかけて民間配電会社6社が設立され、1954年には電力の供給会社として琉球電力公社が設立されました。その後、電力需要の高まりから、発電船の導入や金武と北谷に火力発電所が建設され1965年と1969年に運転を開始しました。1972年5月15日の復帰に伴い琉球電力公社は解散し、沖縄電力が電力事業を引き継ぎました。

沖縄電力は、東西約1,000km、南北約400kmの広大な海域に160の島々が点在する沖縄県で、沖縄本島を含む38の有人島に電力を供給しています。本土の9電力会社とは系統が連結されておらず、また地理的、地形的特徴及び電力需要規模の制限からエネルギー源は化石燃料に依存しています。そのために電源構成を石油や石炭、LNGの3種類に多様化したり、設備規模などに様々な工夫が凝らして事業運営にあたっています。系統規模が小さくスケールメリットが得にくい中で電力の長期的な安定供給確保を基本に、経済性、エネルギーセキュリティー向上および環境対策の調和を図りながら「ベスト・ミックス」を目指しています。

海洋温度差発電通電式

沖縄電力では、宮古島を中心とした県内の離島で風力や太陽光を用いた再生可能エネルギーの安定導入に向けた「離島独立型系統エネルギー導入実証事業」が2010年から進めています。これは、系統規模の異なる宮古島、与那国島、北大東島、多良間島で、太陽光発電が大量に導入された場合の実系統へ与える影響の把握と系統安定化対策に関する実証実験です。

沖縄県でも「沖縄スマートエネルギーアイランド基盤構築事業」の一環として、2011年から来間島で「島内消費エネルギーの100％を再生可能エネルギーで供給する」エネルギー自給自足の実現可能性を検証するとてもユニークな取り組みが行われています。また、沖縄21世紀ビジョン基本計画に謳われている「沖縄の特色を生かしたエネルギー資源を活用するため、海洋エネルギー等の研究開発」の取り組み促進の一環として、久米島の沖縄県海洋深層水研究施設内で、深海の冷たい深層水と表層の暖かい海水の温度差を利用して発電する海洋温度差発電(OTEC=Ocean Thermal Energy Conversion)の実証実験が、今年6月からスタートしています。このプロジェクトでは、海洋温度差発電の研究が盛んなハワイ州と産官学によるワークショップを開催し情報の交換を行っています。

2010年6月に、クリーン・省エネルギー開発と展開に関するハワイ州・沖縄県のパートナーシップに係る協力覚書が締結され、省エネルギービル、スマートグリッド、再生可能エネルギー及び人材交流の4分野で協力が進められています。2012年には、ホノルル市のプナホウミドルスクールと琉球大学附属中学校が省エネルギービルに関するオンライン・カリキュラムに参加し、最終セッションではスカイプを使ってお互いの省エネプロジェクトについて意見交換を行いました。これ以外にも、沖縄とハワイとのエネルギー交流が産官学の様々なレベルで行われています。

沖縄とハワイはこのクリーンエネルギー協力を通して、太平洋島嶼国における再生可能エネルギー技術の導入に関する先進的な環境モデル地域となる可能性を秘めています。

続く

アメリカ世（ゆー）に於ける人材育成と国際交流推進 ー その2ー
琉米文化会館 (Ryukyuan-American Cultural Center)

琉球列島米国民政府（United States Civil Administration of the Ryukyu Islands）は、アメリカ人と沖縄住民との文化交流施設として、更にアメリカの政策と文化を住民に理解してもらう目的で琉米文化会館や琉米親善センターなどを各地に設置しました。琉米文化会館はアメリカ型の文化施設で、図書室、多目的ホール、集会室、会議室が完備され、那覇市、名護市、石川市（現うるま市）、平良市（現宮古島市）、石垣市、名瀬市（現鹿児島県奄美市）に設置されました。琉米親善センター (Ryukyuan-American Friendship Center) は琉米文化会館と同じ目的の施設でありましたが、こちらは地方自治体の施設で、米国民政府の援助と地域住民の寄付によって建てられ、コザ市（現沖縄市）、糸満町（現糸満市）、座間味村にありました。

琉米文化会館は、図書館事業、各種文化講座、琉米交流行事を催すなど、琉米の文化交流、沖縄住民の教養の向上、又、レクリエーションの場としてたいへん重要な役割を担いました。図書館事業は、所蔵してる図書の閲覧貸出を中心に、読書週間などの文化行事への協力支援や、各地へ出向いての移動図書館活動を行いました。移動図書館の活動はめざましく、地域へ出向き、図書の閲覧、貸出をしたりするだけでなく、紙芝居や読み聞かせ、映画の上映会を開くなど、多岐に亘る活動を実施していました。各種文化講座やレクリエーションを企画運営する行事部では、英語講座、絵画教室、和裁、書道、園芸、合唱、レコードコンサート、ダンス、スポーツ大会など多種多様な文化活動やレクリエーション活動を行っていました。

琉米文化会館は、当時の日本国内の同様な施設に比べて高い水準の設備を誇り、沖縄の人々にとって国際文化交流、琉米親善、そして娯楽の殿堂として人気を博していました。とくに興味深いのは女性たちの交流で、米国と沖縄の婦人たちが沖縄国際婦人クラブを設立し、さまざまな文化交流を行う他に、米婦人が沖縄の婦人を基地内の自宅に招いたり、沖縄の婦人が米婦人の方々を招待して友情を深めていました。琉米文化会館は本土復帰が決まり、復帰一年前の1971年6月30日をもってその幕を閉じることになりますが、現在でも多くの県民が当時を懐かしみ、国際交流の役割を持つ施設の設置を強く望んでおります。

参考資料:

ウィキペディア

AXNペディア

島一番のハイカラ情報発信地～宮古琉米文化会館:あんちーかんちー

那覇琉米文化会館

琉米文化会館内の図書室

1ページ目に戻る

在沖米国領事館のイベントのお知らせ

【英語で朝活】

領事館では「英語で朝活」を毎月、第2・第4火曜日の午前7時半～8時半まで領事館隣のスターバックスで開催しています。独学で英語を勉強されている方から米留帰りで英語力を落としたくない方等、皆様、参加の理由は様々ですが学生から社会人まで楽しく英語で交流しています。参加者の中から国務省が主催する米国留学プログラムへの合格者が出たり、と嬉しい成果も出ています。参加ご希望の方は直接スタバへ！

【マグルビー総領事との意見交換会】

昨年から赴任しておりますマグルビー総領事は沖縄の若い方々と率直に意見交換をさせて頂くのを楽しみにしております。これまで中学生から大学生まで様々な団体を受け入れて参りました。最初に在沖米国総領事館の機能や役割をパワーポイントで簡単に説明させて頂きまして、各団体からの要望に沿ったお話し（米国留学、日米同盟等）を総領事が行い、最後は参加者の皆様との質疑応答といった形で約1時間～1時間半で行っています。出張講演も行っていますので、ご興味のある学校関係者の皆様や学生の皆様はぜひ広報部までお申込み下さい。

直近の予定　7/26（金）－　沖縄県費にて米国留学する高校生35名を受入
7/29（月）－　名桜大学にて出張講演
7/30（火）－　沖縄尚学高校受入

【留学説明会】

米国大学の仕組みや留学先となる学校の探し方、基本的な留学準備について担当者が説明します。東京にて日米教育委員会/フルブライトジャパンが開催する留学説明会などもオンラインで結び、沖縄に居ながらにして参加できるイベントも開催しています。フェイスブックやツイッターで開催情報を告知していますので、フォローをよろしくお願いします。

【ルース駐日米国大使とGoogle+ハングアウト】

5月には東京米国大使館と沖縄、富山等の数カ所を「グーグルハングアウト」でオンラインで結び、ルース駐日米国大使との交流会を開催しました。ルース大使と各地の参加者はパソコンの画面を通して同時につながり、質疑応答を楽しみました。沖縄からは大学生3名が参加し大使に直接、日米同盟、沖縄の米軍基地また留学の重要性について英語で質問を行いました。参加された皆さんは大使と英語で意見を交換するということで大変緊張されていましたが、沖縄代表として積極的に発言して大いに自信をつけられた様子でした。今後もこういった機会があれば逃さず提供させて頂きたいと考えております。

このビデオ対談の様子はYoutubeでご覧頂けます！

ビデオはこちらから：http://youtube.com/watch?v=BRsblf-fMHI&feature=youtu.be

1ページ目に戻る

「最高、だーる！」

8月のイベント

- **サイエンスフェア参加者募集**

  「第2回 SCORE! 次世代の科学者、技術者、起業家求む！サイエンス in 沖縄: 起業のための研究能力 サイエンスフェア」
  11月2日（土）10:00 - 沖縄科学技術大学院大学

- **映画上映会**

  「Revenge of the Electric Car～電気自動車の逆襲～」
  8月17日（土）14:00 - 浦添市立図書館
  (参加無料・申込不要・定員先着60名)

- **留学説明会**

  「高校生と保護者のためのアメリカ大学留学説明会」
  8月23日（金）14:00 - 在沖縄米国総領事館
  (参加無料・要申込み・定員先着25名)

- **講演会**

  「デジタル時代を生き抜く！情報リテラシーの育成」
  講師 米国図書館協会 バーバラ・M・ジョーンズ 博士
  8月29日（木）14:00 - 浦添市立図書館 2F 視聴覚室
  (逐次通訳つき・参加無料・要申込み・定員先着60名)

1ページ目に戻る

在沖縄米国総領事館

〒901-2104 沖縄県浦添市当山2-1-1
http://japanese.naha.usconsulate.gov/